

柔道整復科 I部

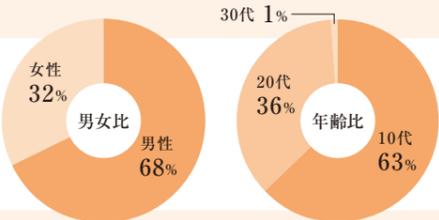
全日制 昼間部



充実した授業構成で、柔道整復の理論と実技を徹底的に修得します。

在校生data

※2017年4月1日時点(1~3年次)



9:30~16:40(月-土 週6日制)

■修業年限:3年 ■定員:60名

職業実践専門課程認定

昼間部の特徴

多彩な専門科目で目標に応じた技能を修得できます。

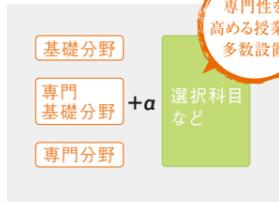
柔道整復の基礎力を固める
全日制ならではの授業構成。

全日制的充実した授業構成により、柔道整復に必要な知識と技能を着実に修得。基礎分野から専門分野に及ぶ医学知識はもちろん、一般教養も高めています。



治療家としての基盤をつくる
体系的なカリキュラムと選択科目。

知識と技能を体系化していく学科カリキュラムに加え、目指す分野や目的に合わせて選べる幅広い選択科目を設置。治療家としての基盤と専門性を築くことができます。



伝統医療と最新医療を学ぶ、
統合的な臨床家教育。

柔術をルーツとする柔道整復学の基本理念と伝統的な治療技術、その技術を裏付ける最新の臨床医学に基づく診察・診断・鑑別の力を、理論と実技の両面から学びます。



職業実践専門課程ならではの
実践的な職業教育。

「柔道I・II」「臨床実習」「臨床的治療法」は、「職業実践専門課程」の認定基準を満たす授業として、企業等と連携し実践的かつ専門的な実習・演習を行っています。



卒業生インタビュー

先進医療の現場で、具竹で修得した知識と技能を発揮しています。

私が働く整形外科は柔道整復への理解が深く、医師と柔道整復師による連携医療を重視しています。そんな先進医療の現場で生きているのが、具竹で学んだ柔道整復の理論と実践、特に解剖学と整復固定の基礎力です。臨床の現場は勉強が欠かせず、責任も重大ですが、患者さまの「ありがとう」の一言で疲れも吹き飛びます。その瞬間を励みに患者さまと痛みを分かち合い、スポーツ界でも著名な柔道整復師である父を超える治療家を目指します。

2015年度 柔道整復科I部卒業/医療法人社団 宏友会 栗原整形外科 柔道整復師 藤井 元喜さん



授業の流れ

年次ごとに、基礎、応用、実践へと段階的に積み上げる学習システムです。

	1年次	2年次	3年次
学習ポイント	<p>基本に徹した学びで基礎を固め、医療人としての自覚を確立。</p> <p>柔道整復の基礎知識と基本技能の学習を通じて、基礎力をつくると同時に医療人としての自覚を持たせます。</p>	<p>臨床医学に基づき、応用力や探究力を向上。</p> <p>臨床医学に基づいて各論を学びながら、柔道整復師としての応用力や、治療家としての探究力を高めていきます。</p>	<p>臨床実習で臨床力を養い、実技審査と国家試験に対応。</p> <p>臨床実習を通じて実践的な技能と患者さまへの対応力を磨くとともに、実技認定審査と国家試験に向けた強化学習を行います。</p>
カリキュラム	<p>【基礎分野】 総合基礎I(生物I・II/コミュニケーション心理学/文章表現・読解法)</p> <p>【専門基礎分野】 人体構造学I、人体機能学I、健康の意義、柔道I</p> <p>【専門分野】 運動器学、骨損傷学基礎、基本的治療法、関節損傷学基礎、総合柔道整復演習、臨床実習☆</p>	<p>【基礎分野】 総合基礎II(医用英語I・II/化学)</p> <p>【専門基礎分野】 人体構造学II、人体機能学II、疾病の成り立ち、運動器診断治療学、内科診断治療学、外科診断治療学、人体機能回復論</p> <p>【専門分野】 上肢の損傷学I、下肢の損傷学I、体幹の損傷学、総合柔道整復演習、臨床実習☆</p>	<p>【専門基礎分野】 人体構造機能学、関係法規、柔道II 柔道整復の適応、社会保障制度</p> <p>【専門分野】 柔道整復と基礎医学(人体構造学/人体機能学/健康の意義)、上肢の損傷学II、下肢の損傷学II、柔道整復と臨床医学(病理学/整形外科/内科学/外科学/リハビリテーション)、臨床的治療法、総合柔道整復演習、臨床実習☆</p>
選択科目	<p>【選択科目(自由選択)】 スキルアップ講座I(トレーニング講座(スタビライゼーション、ドラウタビリティー)/コミュニケーション講座(サービス介助論、手話)) 他</p>	<p>【選択科目(自由選択)】 スキルアップ講座II(スポーツトレーナー講座/介護健康指導講座/認定実技対策講座(柔道))</p>	<p>【選択科目(自由選択)】 スキルアップ講座III(超音波医用画像講座/開業支援講座/アスレティックトレーナー講座)</p>

…業界と直結し、企業等と連携した実践授業 ☆臨床実習の一部は、1・2年次は春季・夏季の時間外、3年次は夏季の時間外にも実施。

※基礎分野は履修免除制度あり。

1週間の時間割例

1年次

講義、実技、選択科目をバランスよく配したカリキュラムを展開します。

具竹独自の授業

【後療法演習】
身体各部分の損傷を想定し、ロールプレイ方式で実際の後療法を実施。手技のほか、測定・検査法も実技の中で学びます。

【救急蘇生法演習】
BLS(一次救命処置)の基本知識と技術を修得するとともに、その応急手当に必要な知識と技術を身につけます。



	1 9:30~11:00	2 11:10~12:40	3 13:30~15:00	4 15:10~16:40
月	総合柔道整復演習(運動器学演習)	総合柔道整復演習(医療心理学演習)	サービス介助論	—
火	人体構造学I	総合柔道整復演習(柔道整復業務概論)	総合柔道整復演習(後療法演習・救急蘇生法演習)	ドラウタビリティー
水	人体機能学I	運動器学	—	—
木	健康の意義	基本的治療法	柔道I	手話
金	骨損傷学基礎	関節損傷学基礎	—	—
土	生物II	文章表現・読解法	—	—

選択科目【手話】

聴覚障がいを持つ患者さまとのコミュニケーション方法として手話を学び、聴覚障がい者に対する理解を深めます。



企業等との連携授業 【柔道I】



柔道整復師の技術のより所である手技の理解、人格形成、心身の鍛錬を目的に、柔道の基本的動作を体得します。

選択科目【ドラウタビリティー】



体幹トレーニングが中心のスタビライゼーションに対して、瞬発力を高めるトレーニングとその指導方法を学びます。

在校生インタビュー

女性に信頼される治療家になるため、技能と心を磨きます。

授業は骨や筋の仕組みを学ぶ運動器学など、治療技術の前段階で覚えることが膨大です。でも、理解が深まるほど学ぶことが楽しくなり、探究心が高まります。将来の目標は、デリケートな女性の患者さんからも信頼される治療家になること。国家試験に向けて実力を高め、治療家としての心も磨きたいと思います。

柔道整復科I部 石橋 莉紗さん

